

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」神辺校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月1日 ～ 2025年12月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・校舎全員で、個々の支援内容や活動プログラムの理解と共有をおこなっている。	・支援の打合せ、振り返りは毎日必ず行い全員で共有をし検討、改善をおこなっている。 ・指導員2～3名体制で担当し、支援を行っている。	・個々の職員の専門性を最大限に活かした支援内容やプログラムを作成し、将来、社会参加することを意識し取り組みを行っていく。 ・小集団・個別を組み合わせ支援をおこないそれぞれの課題を見つけ、特性に合った支援をおこなっていく。 ・指導員間での共有の強化
2	・子ども達の本質的な課題を多面的な視点から、総合的に判断、検討、共有し、支援に活かしている。	・指導員間でお互いを認め合い、高め合いながら支援のスキル向上に取り組んでいる。	・個々の支援の質を上げるため、療育における知識の獲得や研究に取り組んでいる。知識や経験、習得した内容をすぐにアウトプットしていき、全員で共有し学ぶことを継続していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域や園、関係機関及び保護者様との連携の不十分さ。	・連携環境の設定の不十分。 ・連携方法や連携後の支援への活かし方。 ・事業所としての意識づけ、明確な目的の不十分さ。 ・支援の内容や目的、ねらいを言語化することの難しさ。	・積極的な連携の促しと、連携目的を明確にすることで支援に活かせるように取り組む。
2	・事業所内の行事や研修、訓練等の周知	・保護者の方や外部に向けての周知方法の不十分さ。 ・発信方法や開示の不十分さ。 ・事業所としての意識づけの不十分さ。	・「ホームページ・SNS」等で研修や行事等の発信を毎月行っていけるよう環境や体制を整え、保護者の皆様にも直接お伝える等周知方法を検討する。 ・事業所として、地域や保護者の方の理解を深めることの重要性を把握をし、地域を意識して行動する。
3	・事業所外でのインクルージョンの取り組み。	・場所や時間などの確保と参加する職員の調整の難しさ。 ・定期的に取り組むことが必要である。	・活動内容の具体的な提示、ねらいや意図などの明確化をしてイメージしやすいように全員で共有を行う。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」神辺校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

10

回収数

7名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	0	0	0	・仕切りなどで区切ってあって良い。 ・体を動かす十分なスペースが確保されています。	安全に留意して活動に合わせて臨機応変に対応しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	0	0	0	細かく確認指導フィードバックいただいています。	適切な配置数で支援を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	0	0	0	説明をきちんといただいています。	全職員で検討、共有、振り返りを行っています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	0	0	3	今後連携してくださる話はしている。	連携を行い、活動できるよう検討しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	0	0	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	7	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	1	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	0	0	2		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	0	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3	2	0	2	十二分に丁寧な説明をうけています。	情報の発信、周知の徹底をさらにおこなっていけるよう検討しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	0	0	1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	7	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	0	0	0		

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」神辺校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		パーティション等でフレキシブルにスペースを区切り利用者数に応じている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		状態や活動に応じて指導員が関わっている。数名での関わりもある。それぞれ役割割り及びできる事を考え行動している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		特性に合わせたスペースを設けている。必要に応じて指導員が補助をおこなっている。	建物の構造上段差がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の清掃や道具、おもちゃ等の消毒を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		状態に合わせて用途で使い分けをおこなっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		目標の設定と振り返りを毎日行っている。職員間で話し合いを十分に行い行動している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様の意見はすべて事業所内で共有をおこない、検討、改善を行えるよう取り組んでいる。	日々のミーティングでの共有する事象や内容の確認を全職員で行い取り組んでいく事も必要である。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員が事業所を動かしている、作っていることの意識付けをおこなっており、責任感をもって取り組みを行っている。	随時設けている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	常に、外部の関係機関の方のお話を伺い全員で共有して改善に向けて取り組んでいる。	第三者評価をおこなっていない。必要性は感じている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内においても研修を行い、外部の研修も参加を促すなどして知識や経験の獲得をおこなっている。	研修を開催する機会はあるが、利用時間の関係上参加が難しかったり、配置数の関係があり参加が難しいことも。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		毎回利用児童の支援プログラムの作成・公表は行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		職員全員で共有し検討し計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員で共有し、様々な視点での検討をし計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		おこなっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		来校して帰るまでのすべての言動を観察、分析することを日々行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		常に、全員で共有して積極的に行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		スモールステップ、レベル別を意識しての取り組みを考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		おこなっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日ミーティング等で確認し全員で共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		急を要する内容は当日に、それ以外は翌日の朝のミーティングでおこなっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録を徹底し、検証改善は常に行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		おこなっている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		おこなえている。	地域との連携はまだ強化が必要である。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行を意識した支援を日頃から行っている。園などと連携をとり情報交換を行っている。	相互理解という点においては難しさを感じている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者のニーズにあわせておこなって行く。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて行いたい。	センターに通っていないお子様の場合は、センターとの連携をとりづらい事がある。助言、アドバイスをいただきたいと思っている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	必要に応じて行うようにしている。	時間的に難しさもあるが、どのような連携がとれるか模索中である。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援を保護者様に見ていただき、課題や状態の話を行っている。支援後のフィードバックの時間を十分にとり、また別途時間を設ける事も行っている。	もっと保護者様との話す時間を設けていく必要があると感じている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ママカフェ等を行い、保護者様の相談場所を意識して開催している。必要に応じて個別でペアレントトレーニングを行っている。	保護者様のサポートも伴走的に行えることが望ましいと考えている。将来を見据えたサポートができる事を考えている。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		おこなっている。	都度説明している。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画は必ず保護者様と方向性を確認している。	ご利用後のフィードバックにおいても確認するなどおこなっている。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		原案の同意、本計画の同意を必ず毎回おこなっている。	特性や成長段階に合わせた支援内容を説明しながら目標や方向性の共有を行い、同意をいただいている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		おこなっている。ご利用のない保護者様も相談・助言等おこなっている。	保護者様の地域の相談場所としていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		ママカフェ等を開催して保護者様間での交流する機会を設けている。きょうだい同士も、送迎等で来校された祭は交流できる時間を設けている。	地域に向けての周知に取り組み、様々な方との交流する機会を提供できるよう取り組んでいく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速に丁寧に対応することを全職員に意識づけを行い対応することを行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HP、SNS等、チラシ等を活用して、行事や研修、訓練等の発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		十分注意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		配慮をおこなっている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		「きらりひろば」「ママカフェ」など広く周知活動をおこない、ご利用されていない方も含めた参加の周知活動をしている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアル等は作成しており、どなたでもいつでも見ていただけるよう設置している。訓練も実施している。	定期的に研修や訓練を行っている。周知は繰り返しおこなっていく事が必要。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		策定し訓練も行っている。	定期的に研修や訓練を行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		確認している。	都度確認をおこなっている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供はないが必要に応じて対応する。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		おこなっている。	定期的に研修や訓練を行っている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		周知はおこなっている。	繰り返しの周知が必要である。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		おこなっている。その都度行っている。	当日もしくは翌日、ミーティング等で共有、検討を行っている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		おこなっている。	定期的に研修や訓練を行っている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		おこなっている。	ご契約時に十分説明を行っている。